



導入事例：ソノロジックデザイン社、Merging と Neumann の製品でオーディオワークフローを強化

ソノロジックデザイン社のマルチチャンネルオーディオの制作に Neumann MT 48 と Merging Anubis を採用



ソノロジックデザイン社 スタジオの Merging Anubis と Neumann MT 48

2024年12月 –ソノロジックデザイン社は、ゲーム、映画、エンターテインメント空間からモビリティに至るまで多様なサウンドを制作する会社です。同社の代表取締役である牛島正人氏は、きわめて複雑なワークフローを最適化してくれる、最良のソリューションを常に追い求めてきました。

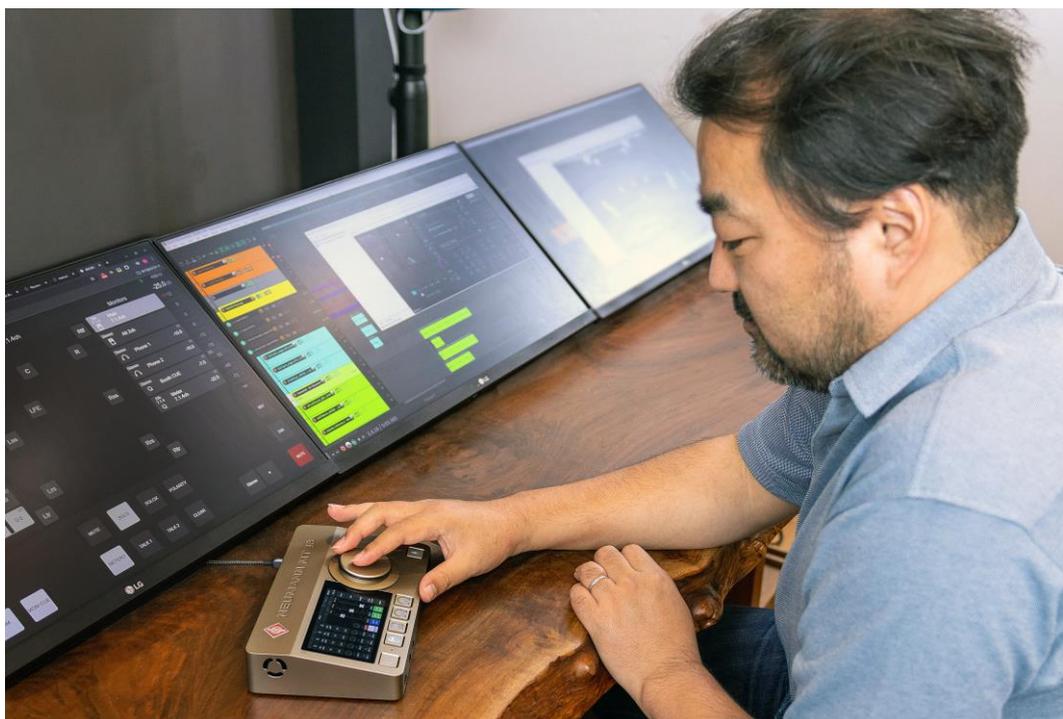
2018年、モニター制御機能を備えたオーディオインターフェースを探していた牛島氏は、マーキング・テクノロジーズの Merging Anubis と出会いました。「Merging Anubis には感動しました。機能性、性能および品質という点で私が求めていたものが、すべて揃っていたからです」と牛島氏は話しています。それ以降、牛島氏は、スタジオには必ず Anubis を設置し、さまざまなサウンド制作を行ってきました。

2023年には、マーキング・テクノロジーズと協業しているノイマンの MT 48 が華々しいデビューを飾りました。Anubis との出会いから数年後、牛島氏は MT 48 にまたも感銘を受けました。

「NAMM 2023 で展示されていた MT 48 に驚きを覚え、これは試してみなければと思いました。それから数か月後、ノイマンの日本チームと共に、MT 48 をレビューする機会に恵まれました。MT 48 は私の予想をも上回っていました」



MT 48 の第一印象は圧倒的な使いやすさだった、と牛島氏は話しています。「MT 48 は、本体のタッチパネルだけでなく、PC やタブレットのブラウザスクリーンからでも操作できますよね。これがとても便利なのです。MT 48 のあらゆる機能は、MT 48 の IP アドレスを入力するだけで、同じネットワーク上のあらゆるウェブデバイスから遠隔操作できます。この機能はイベントではとても便利で、ミキサーと 2 人の人間がステージ横で、調整を同時にすることができます。さらに、操作画面がとてもわかりやすくなっています」



スタジオでの MT 48 の操作風景

牛島氏は、優れたトークバックシステムによる、MT 48 の優れた拡張性も高く評価しています。「MT 48 は、Dante だけでなく、AoIP や USB、ADAT、S/PDIF、光学的入出力、AES67、MIDI に対応する、他の LAN 接続につながることができます。トークバックシステムも役立ちます。MT 48 自体にはマイクロフォンが内蔵されており、この機能を使ってトークバックシステムを簡単に構築することができます。追加のケーブルなしでトークバックシステムを構築できるのは、とても素晴らしいことです」

MT 48 が 136db のダイナミックレンジを備えた、業界トップクラスの AD/DA コンバーターを搭載していることにも、牛島氏は魅力を感じています。「とてもパワフルでもあり、MT 48 を通過するサウンドに EQ は必要ありません。スタジオでの音声レコーディングでは、当社は Neumann U 67 マイクロフォンを使っており、これによって、音声完璧にキャプチャされています。このサウンドフィデリティは、製品ライン全体に共通する、Neumann のブランドアイデンティティーになっている、と私は思っています」



株式会社ソノロジックデザイン CEO 牛島正人氏

MT 48 とマルチチャンネルオーディオとの互換性を実現する Monitor Mission により、オーディオインターフェースは没入感のあるワークフローに対応できるようになっています。「たくさんの機能をオールインワンのパッケージで提供できるのは素晴らしいことだと思っています。サウンド制作に携わる者にとっては、これは最良の選択かもしれません。当社のチームはみんな、MT 48 に満足しています。これはすごい製品だと、本当に思っています」

■Neumann について

「Neumann.Berlin」の名で知られる Georg Neumann GmbH は、スタジオグレードのオーディオ機器に特化した世界的なトップメーカーであり、U 47、M 49、U 67、U 87 をはじめとするレコーディング用マイクロフォンの伝説的名機の生みの親としても知られています。1928 年の創業以来、Neumann.Berlin は数々の技術的イノベーションを起こし、いくつもの国際的な賞を授与されてきました。専門は電気音響変換機の開発ですが、2010 年よりテレビやラジオ放送、レコーディング、オーディオ制作といった市場向けのスタジオモニター製品開発も手掛けています。Neumann 初のスタジオヘッドフォンは 2019 年初頭にリリースされ、2022 年以降はライブオーディオ用の、リファレンスクラスのソリューションに力を入れています。Georg Neumann GmbH は 1991 年より Sennheiser グループの傘下に入り、製品は現在、Sennheiser が世界中で展開する拠点ネットワークのほか、長期的な関係を構築してきた販売代理店を通じて各国で販売されています。

<https://www.neumann.com/ja-jp>

■当プレスリリースに関するお問い合わせ：

ゼンハイザージャパン株式会社 広報担当

株式会社ブレインズ・カンパニー

担当：中村・西田・本郷・齋藤

TEL：03-4580-9156 / MAIL：sennheiser@pjbc.co.jp